

たんぽぽ

2016.7.1



「かなみん」が来た！

「かなみん」は、神奈川中央交通のマスコットキャラクターです。施設、病院を訪問して子どもたちを励ましたり、会社のPR活動をしたりと、いろいろなところに登場します。

今回は、北里大学病院の小児病棟に入院している子どもたちを励まそうと、「梅雨のお楽しみ会」の主賓として来てくれました。始めに「かなみんバス」(風景の違う4種類のバスが走っている)の紹介があり、参加者全員で「にじ」を合唱しました。会場に来られなかった子どもたちの病室を回り、最後に「かなみんバス」に乗せてくれました。

とってもカワイイ「かなみん！」。子どもたちの心を和ませてくれた一時になりました(大人も！)。



かなみんバスは…



かなみん登場！ワー パチパチ



♪にわのシャベルがー♪



車椅子ごとのれるんだって

今日の散歩は花の観察

北里学級では毎週木曜日の午後、構内の散歩に出かけています。6/2 は少し趣向を変えて病院に隣接している「さがみの仲よし小道」へ出かけました。

ここは今、春から夏の植物がたくさんの花を咲かせています。観察ノートを手で、自分で見つけた花をスケッチして後で名前を調べる、という取り組みでした。やや日差しが強い日でしたが、久しぶりの「外出」は、入院生活を頑張っている子どもたちにとって、大きな気分転換になったようです。ご協力いただいた病棟のスタッフの皆さんや担当の先生方に感謝します。



北里大学病院周辺の施設紹介 ～その②～



北里大学病院の西側にある「さがみの仲よし小道」という遊歩道は、「相模原畑地灌漑水路」を埋め立ててつくられました。

「相模原畑地灌漑用水」は、戦後の食糧難を補うために、1949(昭和24)年に着工され1963(昭和38)年に完成しました。西幹線(仲よし小道-綾瀬市まで)と東幹線(相模原ゴルフ場東側にある遊歩道-藤沢市まで)、そして多くの支線がつけられました。しかし、完成とほぼ同時に、農地が宅地や工業用地に変わり、莫大な建設費を投じたにも関わらず、ほとんど活用されることはありませんでした。



西幹線は部分的ですが、東幹線は遊歩道公園としてかなり整備されています。休日にウォーキングをしてみるのはいかがでしょうか。

(帰りは小田急、相鉄が使えます。)